

ウ ド (露地) (黒ボク土)

〔土壤肥料〕

根株養成時の生育は、栄養生長から生殖生長に転換する型である。乾湿害の起こりにくい肥沃な土壌を好む。窒素の吸収パターンは山型を示し、収穫後の土壌中残存養分は比較的低位に制御できる。

〔病害虫・雑草防除〕

根株養成には無病の苗を利用する。微生物農薬を利用、機械による中耕除草により化学農薬の使用を低減する。連作を避け、発病株は早期に見つけ取り除く。

区分	持続性の高い農業生産方式の内容	使用の目安
有機質資材 施用技術	<p>土壌診断に基づいた低成分含量堆肥(稲わら堆肥及び落葉堆肥等で、窒素、カリ含量が1%以下の完熟したもの)の施用を基本とする。</p> <p>肥料成分含量の高い畜産系堆肥の施用にあたっては長期的な視点にたった投入量管理を行う。</p> <p>緑肥作物を利用する。</p>	<p>堆肥 2~3t/10a</p>
化学肥料 低減技術	<p>基肥は局所施肥(条施肥など)するとともに、茎葉の生育を観察し7月までに窒素、カリの追肥を行う。</p> <p>肥効調節型肥料と速効性肥料とを組み合わせ、生育特性に対応した施肥成分の供給を行う。</p> <p>有機質肥料による施肥を行う。</p>	<p>成分量で施肥基準以下</p> <p>有機質肥料併用の場合には化学肥料低減率20~50%</p>
化学農薬 低減技術	<p>機械により中耕、除草する。</p> <p>微生物農薬を利用する。</p> <p>(対象：センノカミキリ成虫)</p>	<p>慣行使用回数の 20%減</p>
その他の 留意事項	<p>根株養成用の苗は無病のものを選び、定植する。</p> <p>連作を避ける。</p>	